

平成25年度SC全国ネットワーク 第1回常任幹事会 会議概要

日 時 平成25年4月22日(月) 14:00～17:10
場 所 日本体育協会 1階 特別室
出席者 伊端、榎、大原、黒須、桑田、関口、高橋、中村、鍋島、松田、築瀬の各常任幹事
文部科学省 舟木(スポーツ振興課スポーツ連携室)
事務局 小林、小野寺、青田、石黒、藤井、佐野(俊)、安部
(敬称略)

出席者数 合計19名

会議に先立ち小林地域スポーツ推進部長から挨拶。

出席者自己紹介、文部科学省および事務局職員の自己紹介の後、議事に入った。

議 題

1. 幹事長・副幹事長の互選について

平成25・26年度の幹事長及び副幹事長の互選について事務局から提案を求めたところ、伊端幹事より桑田幹事を幹事長に推薦したい旨の発言があり、全員に諮ったところ異議なく承認され、桑田幹事も幹事長就任について承諾した。

続いて副幹事長の互選について諮ったところ、桑田幹事長から昨年度に引き続き2名体制とし、併せて伊端幹事、関口幹事の2名を副幹事長として推薦したいとの意見があり、全員に諮ったところ異議なく承認され、両名とも副幹事長就任について承諾した。

2. SC全国ネットワーク事業の検討について

議事に先立ち桑田幹事長から所信表明があり、配布資料に基づきSC全国ネットワークの方針と常任幹事へのお願いがあった。

続いて桑田幹事長より、SC全国ネットワークの自主自立に向けて、日本体育協会と相談しながら将来的に独自の営業活動を行い予算獲得を図るとともに、事務機能を担う事務局の設置や口座の設定を模索したい等の提案があった。

また、伊端副幹事長からは本年度の取り組みとして、平成25年3月1日の総会で了承された国・関係機関への提言・要望を都道府県連絡協議会に対し聴取すること、各クラブへの情報提供を目的とした地域の課題解決に役立つ取り組み事例を聴取することが提案された。

これらの提案に対して各常任幹事から意見を求め、協議した結果、国・関係機関への提言・要望の聴取については、国等の予算編成のスケジュールを確認した上で、実施時期、内容等を改めて常任幹事にメール等で提示・協議の後、実施することとした。

3. 部会設置およびメンバーについて

事務局より資料に基づき、事業及び広報を扱う1部会とした新しい部会体制(案)について概要を説明の後、提案。協議の結果、異議なく承認され、部会名称とメンバーについては正副幹事長に一任された。

4. 全国スポーツクラブ会議について

事務局より同会議第7回大会の実行委員会の構成、次年度第8回大会への共催、次々年度第9回大会開催候補地について資料に基づき説明。

協議の結果、前2項目については異議なく了承された。なお、第9回大会開催候補地については、九州ブロックでは平成23年に第4回大会を宮崎で開催していることから、島根県の総合型クラブ「出雲スポーツ振興21」が適当との意見や、県連絡協議会との連携がより良く取れているクラブが望ましいとの意見があり、これらの意見を実行委員である桑田幹事長が第7回大会で開催される実行委員会でSC全国ネットワークの意見として伝えることとした。

報告事項

1. ブロック別クラブネットワークアクション2013について

事務局より同事業開催要項に基づき、日程・会場について説明するとともに、本年度から企画・立案から運営までを各ブロックにて編成する実行委員会において行い、ブロック代表常任幹事が中心となって取り仕切っていただく旨を報告した。

2. 総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストについて

事務局より募集チラシが完成しており、4月中には各都道府県宛発送する予定である旨を報告するとともに、常任幹事各位に対し当該ブロック内のクラブ関係者の方々に告知いただくよう依頼した。

3. その他

- ・事務局より常任幹事各位に対し、4月25日に開催される「スポーツ界における暴力根絶に向けた集い」について出席を依頼するとともに、岐阜県の総合型クラブにおいて発覚した暴力事件について現況を報告した。
- ・事務局より常任幹事各位に対し、本年度で終了する「リスクマネジメント研修会」に代わる「安全・安心」をキーワードとした新事業のアイデアを提案いただきたい旨依頼した。また、総合型クラブと公認スポーツ指導者のマッチングについて、すでにテストケースとして3都道県で実施している旨を報告した。

以上の内容を協議し、17時10分閉会。